

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、
奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

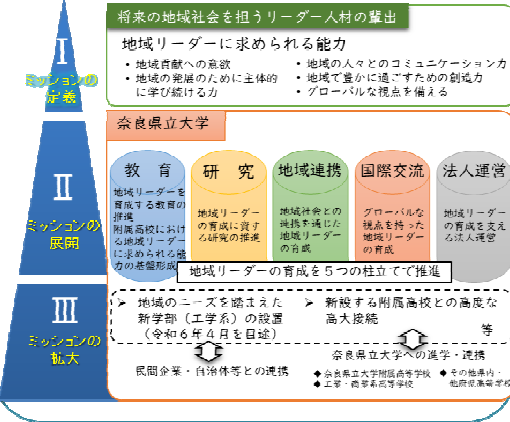
VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(92) 県立大学の教育の充実

これまででは

県立大学第2期中期目標の策定を進めてきました(令和2年11月県議会で議決)。

県大に期待すること (ミッション) 地域の経済・社会・行政等の分野で活躍する地域リーダーをつくる



もっと良くするために

第2期中期目標(令和3～8年度)の内容に沿ってさらなる充実に努めます。

附属高校の新設と高度な高大接続(91百万円)

○附属高校を新設(令和4年4月)し、県立大学教員による講義の受講や、県立大学の講義科目を選択履修するなど、県立大学が持つ知見等のリソースを活用したシームレスな高大接続を可能とするカリキュラム等を検討します。

工学系新学部の設置(14百万円)(債務負担行為13百万円)

○工学系新学部(令和6年4月目途)の設置に必要な基本構想を策定します。

教育環境の充実を進めます。(497百万円)(債務負担行為104百万円)

- 「少人数対話型教育(コモンズ制)」により、引き続き地域に貢献できる優れた人材を育成していきます。
- 国内外における「フィールドワーク」により、引き続き地域課題に主体的に取り組む人材を育成していきます。
- 地域創造研究センターを運営し、共同研究等を進めます。
- クラブハウス等の施設整備を進めます。

令和3年度予算案 602百万円(債務負担行為117百万円)

R3予算案 602,438千円 [債務負担行為 116,725千円]

県立大学第2期中期目標

県大に期待すること (ミッション)

地域の経済・社会・行政等の分野で活躍する地域リーダーをつくる

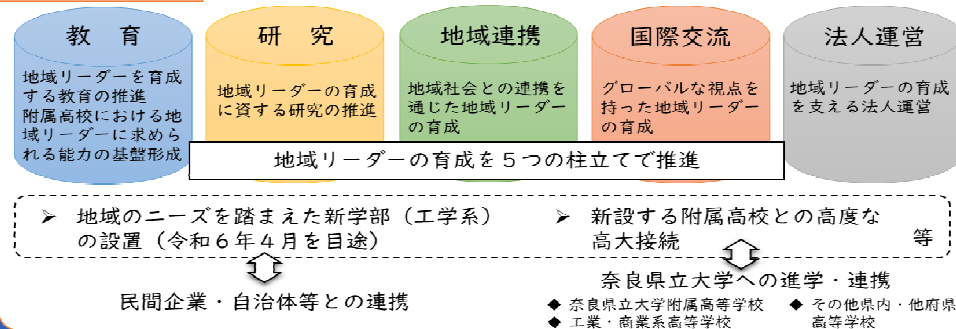


将来の地域社会を担うリーダー人材の輩出

地域リーダーに求められる能力

- ・地域貢献への意欲
- ・地域の発展のために主体的に学び続ける力
- ・地域の人々とのコミュニケーション力
- ・地域で豊かに過ごすための創造力
- ・グローバルな視点を備える

奈良県立大学



第2期中期目標達成に向けた取組の支援 (492,081千円)

- ・少人数対話型教育(コモンズ制)の推進
- ・東アジア・サマースクール
- ・学生の海外留学支援
- ・附属高等学校(R4年4月開校)の教育の充実
- ・工学系新学部設置準備の推進

県立大学の整備 (45,417千円、R4債務負担行為103,725千円)

- ・クラブハウス棟の建設
- ・IV号館解体撤去設計等

高等教育修学支援 (50,940千円)

- ・支援対象となる学生に対し、授業料及び入学金を減免

工学系新学部の設置 (14,000千円、R4債務負担行為13,000千円)

- ・(新) 県立大学新学部基本構想の策定



クラブハウス棟イメージ

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 教育振興課 山口課長補佐(内線2576)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(93) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化

これまででは

令和元年度から6年間の第3期中期目標・中期計画を定め、医大の改革をさらに進めてきています。

(奈良県立医科大学の将来像(教育分野の理念))

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を实践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

(医大への期待)

- 高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応する
- 最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)
- 県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

(医療の特性に応じた目標)

高度医療	<ul style="list-style-type: none"> 高度医療における患者の理解と、自己選択を促すコミュニケーションを習得する学習 臨床研究や診療の質の向上 質の高いがん治療実施比率の向上
急性期医療	<ul style="list-style-type: none"> 急性期医療における患者の理解と受容を促すコミュニケーションを習得する学習 特定行為研修を修了した医師数の増加 ICU型救急医療体制の確立 災害医療チームの育成
慢性疾患	<ul style="list-style-type: none"> 患者と寄り添うコミュニケーションを習得する学習 特定行為研修を修了した看護師数の増加 総合診療科・在宅医療部門の設立

R3予算案 5,048,131千円

○県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理(1,602千円)

「医大の将来像実現推進会議」を開催し、**県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進**

○第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,046,529千円)

県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、**運営費交付金、中期目標達成促進補助金等**を交付

【中期目標達成促進補助金対象経費】

・心の教育を実現するための講座の運営経費 ・奈良学・在宅医療学の運営経費 等

医大に期待すること

高度医療、急性期医療から慢性疾患に対応する

○最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)

○県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

5つの柱立てのもと、中期目標を設定

地域貢献

教育

研究

診療

法人運営

<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に貢献する医療人の確保と質の向上 <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県民の健康増進への貢献 <p>【診察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の医療機関との連携・機能分担の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最高の医学と最善の医療を行う「良き医療人」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全で安心できる最善の医療の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能で安定的な法人運営
<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医師・看護師・保健師の県内定着 ● 医師の偏在・散財の解消 ● 看護師の質の向上 <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に根ざし地域と歩む研究の推進 <p>【診察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践 ● 病病連携・病診連携の推進 ● 各領域の担い手となる医療人の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「心の教育」を軸とした良き医療人の育成 ● 教員の教育能力開発と教育全般に関する360度評価 ● 学生への支援の推進 ● 学習環境と教育環境の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 ● 横連携・他分野連携の推進 ● 研究推進体制の適正化と強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内基幹病院としての機能の充実 ● 患者満足の一層の向上 ● 安全な医療体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ● ガバナンス体制の確立 ● 医療費適正化の推進とそれを支える費用構造改革の徹底による持続可能な経営基盤の確立 ● 働き方改革の推進

もっと良くするために

第3期中期目標・中期計画の進捗管理を行うとともに、第3期中期目標達成に向けた取組・運営に対する支援を行います。

○県による第3期中期目標・中期計画の進捗管理(2百万円)

「医大の将来像実現推進会議」を年に複数回開催し、県立医科大学のPDCAマネジメントサイクルを推進

○第3期中期目標達成に向けた取組と運営に対する支援(5,046百万円)

県立医科大学の第3期中期目標達成に向けた取組と大学・病院の運営に要する経費に対し、運営費交付金及び中期目標達成促進補助金等を交付

【運営交付金】

医師・看護師の養成等業務運営に必要な経費の財源に充てるため、県立医科大学に対し運営費交付金を交付

【中期目標達成促進補助金】

第3期中期目標の達成に向け、県が重点的に促進する県立医科大学の取組に対し補助

(主な対象経費)

- ・心の教育を実現するための講座(「医師・患者関係学講座」)の運営経費
- ・奈良学・在宅医療学の運営経費 等

令和3年度予算案 5,048百万円



<問い合わせ先>

医療政策局

病院マネジメント課 吉川課長補佐(内線3162)



研修風景

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(94) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化

これまでは

県は、早稲田大学(H20～)及び近畿大学(H28～)、スイス・ベルン応用科学大学(R元～)、スイス・リース林業教育センター(H28～)、中国清華大学(R元～)と連携を進めてきています。

- ・ 早稲田大学、近畿大学の高度な知的資源を活用し、県政の様々な課題に対応するための事業を展開しています。
- ・ スイス・ベルン応用科学大学と、高齢化社会の課題や取り組みなどに関する意見交換等を実施しました。
- ・ スイス・リース林業研究センターから森林管理制度を学び、新たな森林環境管理制度の導入を推進しています。
- ・ 中国清華大学と、覚書に基づく交流を進めるため、WEB会議を活用し、専門家交流など具体的な交流について協議を実施しています。

県立大学は他大学や地域との連携、県立医大は早稲田大学、奈良先端科学技術大学院大学と連携を進めてきています。

- ・ 県立大学では他大学や研究機関、地域と連携した共同研究を行っています。
- ・ 県立医科大学では、早稲田大学と連携カリキュラムを実施しています。また、奈良先端科学技術大学院大学と医学と工学の共同研究を進めています。

もっと良くするために

中国清華大学との交流事業を進めます(17百万円)

奈良県と清華大学との包括交流に関する覚書に基づき、専門家交流及び学生交流等の交流事業を進めます。

NAFIGとBCC※(バスクカリナリーセンター)との交流事業を進めます(7百万円)

※BCC・・・スペイン・バスク地方にある世界的な1年制の料理専門学校

NAFIGの教育水準の向上並びに奈良の食のイメージアップを図るため、BCCと協定を締結し、交流事業を展開します。

- BCC講師によるNAFIGでの特別講座
- BCC講師によるNAFIGでの県内料理人向けデモンストレーション

早稲田大学、近畿大学との連携(11百万円)

大学の高度な知的資源を活用し、重要かつ専門的な知識を必要とする県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、早稲田大学、近畿大学と連携した事業を展開します。

- 森林のまち「吉野」における吉野材を活かした教育プログラムの開発
- うだ・アニマルパーク誘客促進事業 等

令和3年度予算案 35百万円

R3予算案 35,059千円

①中国・清華大学との交流 (16,519千円)

奈良県と清華大学との包括交流に関する覚書に基づく、文化、教育、産業分野等での交流

R3の取組

- ・ 専門家交流や学生交流の実施、展覧会等による文化交流に向けた検討・調整
- ・ 東アジア・サマースクールへの講師の招聘及び受講生の受け入れ



サマースクール参加者による討論

②大学との連携(早稲田大学・近畿大学) (11,340千円)

大学の高度な知的資源を活用し、重要かつ専門的な知識を必要とする県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、早稲田大学及び近畿大学と連携した取組を展開

R3の取組

- ・ 森林のまち「吉野」における吉野材を活かした教育プログラムの開発
- ・ うだ・アニマルパーク誘客促進事業 等



学生による政策提言コンペ

③NAFIGとBCCとの連携推進 (7,200千円)

美食の街で知られるスペインのバスク州サンセバスチャン市に所在する料理専門学校校のBCC(バスクカリナリーセンター)と連携し、交流を実施

R3の取組

- ・ 協定の締結及びBCC講師を招聘し、交流事業を実施



NAFIGでの調理実習風景

<問い合わせ先>

- ①知事公室 国際課 杉村課長補佐(内線2151)
- ②文化・教育・くらし創造部 教育振興課 山口課長補佐(内線2576)
- ③食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐(内線3818)

VI 智恵の「都」をつくる 19 教育の振興

(95) 県立高校教育の充実

これまで

教育の地方分権の一環として、知事が「教育振興大綱」を策定できるようになり、教育への期待として「学ぶ力・考える力・探究する力」、「働く意欲と働く力」をはぐくみ、「地域と協働して活躍する人を育てる」と述べました。

県立高校においては、社会的・職業的自立への第一歩を支える役割を担ってほしいと考えています。

県教育委員会では学校再編を実施し、特色ある学校の創出を目指します。

- 国際高校：令和2年度開校（国際中学校は令和5年度開校）
- 奈良南高校：令和3年度開校 専攻科：令和4年度設置
- 宇陀高校：令和4年度開校 専攻科：令和4年度設置（宇陀高校専攻科は、令和3年度、繰り上げ開校に先行設置）

県立高校の耐震化、空調施設の整備を進めています。

- 令和4年度に全ての耐震化を完了
- 全ての県立高校（耐震補強・改築対象の3校を除く）の普通教室で、空調設備の設置を令和元年度に完了

もっと良くするために

県立高校では実学教育の充実を進めます。
(134百万円) [債務負担行為 13百万円]

- 新たなコースの設置
 - ・奈良北高校数理解情報科…令和2年度設置
 - ・奈良先端科学技術大学院大学との連携協定に基づく取組の実施
- 専攻科の設置
 - ・奈良南高校（建築・土木）、宇陀高校（介護福祉）…令和4年度設置
- 専門教育の充実
 - ・奈良商工高校（工業・商業）、高円芸術高校（芸術）、商業高校（商業）、奈良南高校…令和3年度開校

県立高校施設の整備を進めます。
(5,538百万円) [債務負担行為 125百万円]

- 県立高校耐震化
- 県立高校施設の長寿命化に向けた対策
- 「奈良県立学校施設長寿命化整備計画」を策定（令和3年3月）し、計画的に長寿命化対策を推進

令和3年度予算案 5,672百万円 [債務負担行為 138百万円]

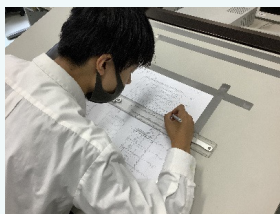
R3予算案 5,671,513千円 [債務負担行為 138,168千円]

特色ある高校の創出

① 県立学校適正化の推進

(133,639千円、R4債務負担行為 12,944千円)

- 国際高校 [R2開校]
 - カリキュラムの開発、国際教養大学との共同ワークショップの開催、**清華大学との交流事業の実施**など
- 奈良商工・高円芸術・商業・奈良南高校 [R3開校]
 - 開校準備、広報リーフレットの作成など
- 奈良南高校 [R3開校]
 - 吉野校舎の改装、専攻科開設(R4)に向けた機器等の整備、森林技術センター等の一体的改修に係る基本・実施設計**



○その他

奈良北高校[R2開校]と奈良先端大との連携協定に基づく取組の実施
奈良高校の移転経費[R4移転]
宇陀高校[R4開校]の開校準備など

県立高校の施設整備

② 県立高等学校の耐震化 (5,226,772千円)

- 耐震補強工事 []は完成予定年度
高田高校・普通特別教室棟[R3]
- 改築工事
郡山高校・特別教室棟[R3]
山辺高校・管理教室棟[R3]
大宇陀高校・普通教室棟、管理特別教室棟[R4]
磯城野高校・特別教室棟[R3]
王寺工業高校・教室棟、屋内運動場[R3]
- その他
奈良高校・仮設校舎賃貸借料など

③ 県立高等学校の学校施設長寿命化対策

(311,102千円、R4債務負担行為 125,224千円)

- 学校施設の経年劣化に伴う老朽化対策



<問い合わせ先>

教育委員会事務局

①教育政策推進課 中澤課長補佐(内線5351)

②③学校支援課 土井課長補佐(内線5281)